

国立大学法人香川大学学長の業務執行状況の確認結果について

令和2年3月9日
国立大学法人香川大学
学長選考会議

国立大学法人香川大学学長選考会議は、国立大学法人香川大学学長選考会議規則第4条第4号に規定する学長の業務執行状況の確認について、下記のとおり確認を行った。

記

1. 対象期間

平成30年10月1日から令和元年9月30日

2. 確認経過

(1) 学長選考会議（令和2年1月23日開催）

確認資料に基づく書面審査を行い、各委員からの意見を聴取した。

(2) 学長選考会議（令和2年3月9日開催）

各委員からの意見に基づく協議及び学長からのヒアリングを行い、加えて監事からの意見を聴取し、以下のとおり確認結果を策定した。

3. 確認結果

学長選考会議は、「寛 善行」学長の業務執行状況は適正であることを確認した。

寛学長は、大学院改革の一環として、既に設置済みである医学部臨床心理学科に続く医学系研究科臨床心理学専攻の設置に向け、強力なリーダーシップを発揮し、同研究科看護学専攻助産学コースの設置と併せて、令和元年夏には文部科学省から設置認可（令和2年4月付）を得る等、学長選考時の所信に掲げる大学院改革を緒につけた。

また、学士課程教育においては、教育の柱に「DRI教育」^(注)を掲げ、その更なる推進のために、ICT環境やアクティブラーニングスペースを整備した「総合教育棟（通称：DRI棟）」を令和元年5月に竣工し、施設面からも学習環境の充実を図っている。

注）DRI教育：イノベーションを創出する「デザイン思考（D）」、レジリエンスやセキュリティに資する「リスクマネジメント（R）」、専門分野を超えて数理・データ分析を行う「インフォマティクス（I）」の3つを統合した能力の育成。

研究に関しては、産官学オープンイノベーションのプラットフォームとしての「イノベーションデザイン研究所」を平成30年10月に設置し、以降、同所で取り扱う特別共同研究を軸とする組織対組織の研究活動が本格化している。

更に、地域連携について、「地方と東京圏の大学生対流促進事業」に取り組み、芝浦工業大学との間で、教育プログラムの提供を行う学生交流を活発に行っており、これは、結果として、国立大学法人評価委員会からも高い評価を受ける等、香川大学における特筆すべき事業として位置付けられる。

学長選考会議では、学長候補適任者所信の内容に沿って、これらの内容について現在までの取組状況及び今後の長期的な展望について、学長からのヒアリングを行ったところ、これから本格化を迎える人文科学及び自然科学を融合した大学院構想の取り組み等、順調な業務執行状況について明確な方向性を確認することが出来た。

今後も引き続き、適正かつ順調な業務執行を期待するとともに、特に、大学院改革において、これまで同様の強力なリーダーシップを期待する。